

合格体験記 3

東京都立大学 人文社会学部 人間社会学科 進学

他の主な合格校 : 中央大学 文学部(センター3 教科・4 教科)、
津田塾大学 学芸学部 多文化国際協力学科(センター4 教科・一般)、
成蹊大学 文学部(センター5 教科併用)

1 志望校決定について

自宅から1時間以内で、キャンパスに自然が多く、行きたい学部があるという3点で決定しました。他の国公立大学よりも学費が安かったのも理由の1つです。5.6月頃に最終決定しました。

2 学習計画について

(1) 1、2年次の学習について

情けないけれど、部活(吹奏楽部)とは全く両立出来ておらず、テスト前の1週間以外はほとんど勉強していませんでした。授業はきちんと聞いて、1週間はコンパクトに集中して勉強し、2年生になってからのテストでは学年順位1桁を取れるくらいまでやっていました。不本意な点数を取ってしまったことのある科目は、復習ノートを作って継続的に勉強していました。

(2) 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

3年になってからは、復習を授業のあった日のうちにしっかりやっていました。年間の大まかな計画は志望校を決めた時期に考え、細かな計画は週ごとに立てていました。

(3) 利用した参考書・問題種、その利用法

- 英語 『英単語の語源図鑑』主に5.6月頃に使っていました。英単語を覚えるのが苦手すぎて億劫になってしまっていた時にこの本を見つけ、語源から単語を覚えられる上に、かわいくわかりやすいイラストが載っていたので、単語暗記が苦では無くなりました。
- 国語 『ことのは』2次直前に使いました。1年生の国語で使っていたワークですが、都立大の熟語の意味記述の対策によかったです。
- 数1A 『センター過去問』秋頃に分野ごとに短期間で勉強したところ、かなり効果がありました。
- 世界史 『テーマ別学習 世界史文化史』夏からずっと使っていました。文化史で点を取りこぼしたくなかったので、毎日見るようにしていました。

(4) 模試の活用方法

模試ごとに期間を区切って勉強の内容の計画を立てていました。復習の際に、間違えた問題はもちろん、自分の失点の傾向をよく考えて、その失点を埋められるような勉強をしました。授業を取っていなかった理科基礎は、9.10月のセンター模試それぞれ2週間前から短期的に集中して勉強

し、その後継続的に問題演習することで点数が取れるようになりました。

(5) 予備校の活用方法

予備校へは通いませんでした。自分に合った参考書・問題集を、書店で実際に見て考えて選ぶということが、すごく大事だと思います。

(6) 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

YouTube が好きだったので、見過ぎないように携帯に時間制限をかけていました。

(7) 後輩へのアドバイス

自分の性格や頭の使い方に合った勉強法を考える、自分の苦手な問題傾向などを把握するなど、自己分析をしっかりとすることが大切だと思います。やる気がなかなか起きない人は、自分はどうかしたら勉強に対してやる気が起きるのかを考えるといいと思います。

(私は筆箱にかわいいストラップをつけたり、単語帳の表紙にシールを貼ったりしていました)

(8) 高校生活全般についての感想・意見・反省

とにかく 1.2 年生の頃に英語をしっかり勉強して、たくさん読書をしておくべきだったと思いました。

(9) 合格した時の喜び

素直に嬉しかったです！